



今年度の改訂に向けた検討の方向性について

2025年10月8日

環境省 大臣官房 環境経済課 環境金融推進室

背景及び改訂の方針

グリーンリストに関するワーキンググループ設置の経緯とスコープ

- 2022年度のグリーンファイナンスに関する検討会においては、以下の論点が示された。
 - 今後も我が国のサステナブルファイナンス市場をさらに発展させていく観点からは、特に**新規調達者・分野への裾野拡大が求められ、そのためにはグリーンな資金使途に関するリストの更なる拡充が有用**であること
 - リストの拡充にあたっては、国内外の動向や市場参加者の知見を採り入れつつ、ガイドライン付属書 1 別表の例示を定期的に更新し、**市場、政策、技術等の動向を継続的に反映する新しい「仕組み」の構築**が求められること
- 上記を踏まえ、2023年度からグリーンファイナンスに関する検討会の下に、「**グリーンリストに関するワーキンググループ**」を設置し、グリーンプロジェクト等を例示した付属書 1 別表の拡充を検討していくこととなった。

グリーンボンド等のガイドラインの構成と 本WGのスコープ

グリーンボンド及びサステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン 2022年版

第1章 はじめに	21
第2章 グリーンボンド	30
第3章 サステナビリティ・リンク・ボンド	59
第4章 投資家に望まれる事項	71
第5章 本ガイドラインの改訂	72

グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2022年版

第1章 はじめに	73
第2章 グリーンローン	81
第3章 サステナビリティ・リンク・ローン	108
第4章 貸し手に望まれる事項	119
第5章 本ガイドラインの改訂	120

グリーンリストに関する
WGのメインスコープ



付属書1 明確な環境改善効果をもたらすグリーンプロジェクトの判断指針	121
付属書2 環境改善効果の算定方法の例	131
付属書3 レポートの例	139
付属書4 KPIの例	142

※参考：付属書 1 はグリーンボンド及びグリーンローンの対象となるグリーンプロジェクトに関する付属書である

グリーンリスト改訂の今後の方向性について

2025年度以降

更新サイクルの構築

国際原則や国内計画等との整合性を図るための継続的な改訂と市場参加者からのインプットの収集を定期的に行うことができるようなサイクルの構築を目指す

2024年度以降

型に基づいた発展

関係省庁への確認を実施し、更なる資金使途事例を追加

各大分類に関する法令・計画・制度・基準等の整理、必要に応じたグリーンリストへの反映

2023年度

型づくり

国際原則や国内計画等との整合性を図る等の

既存の記載内容の整理及び見直しを主眼に置いた改訂作業の実施

(参考) 昨年度(2024年度)の検討の概要

- 第1～4回WG(2023年度及び2024年度)での議論を踏まえ、特に優先的に検討すべき課題(優先課題)を中心に改訂に向けた議論を進めた。

<優先課題と各課題における主な議論と対応>

検討課題	主な議論と対応
①新規策定又は改訂が行われた国内計画等に基づいた資金使途例等の拡充 ②ヒアリング・発行事例等に基づいた資金使途例の拡充	・ 2023年度のグリーンリストの改訂以後に新規策定又は改訂が行われた環境関連分野の国内計画や発行事例等を確認し、グリーンリストへの追記・修正事項を検討。 ・ 環境分野の国内計画等に限らず、関係省庁への照会等を実施し、追記・修正事項がないかを確認。
③グリーンプロジェクトに寄与する事業の考え方	・ 2024年6月にICMAより「Green Enabling Projects Guidance」(以下「GEPガイダンス」という。)が発表されたことを踏まえ、具体的な資金調達事例を取り上げつつ、GEPガイダンスで提示された評価項目に照らした際の分析・評価や、検討すべき課題を議論。 ・ WGでの議論の内容を、我が国における具体的な組成事例と併せて、ICMAのGEPタスクフォースにも共有。
④各大分類に関係する法令・計画・制度・基準等に関する考え方の整理	・ 第4回のWGまでに3つの小分類を対象に、参考となる法令等(法律、政令・省令、告示、通達、戦略、計画、方針、指針、ガイドライン、手引き等)を調査し、整理。 ・ 分類ごとに関係する法令等の量の違い、グリーンリストの役割・位置付けなどから網羅的に整理することの難しさ、定期的な管理・更新の必要性等が指摘され、グリーンリストとは別に大分類ごとに参照しうる情報サイト(関係府省のHP等)など、案件の組成をする際の参照先をまとめていくこととなった。

今年度の検討の進め方

- 昨年度WGでの議論を踏まえ、改めて今年度WGにおける検討課題を整理した。
- そのうち、以下の色付きの検討課題を今年度の優先課題とし、改訂に向けた議論を進めてはどうか。

<主な検討課題と優先課題案>

※青字：優先課題案（昨年度から継続） 赤字：優先課題案（今年度新規）

主な検討課題

検討課題①：新規策定又は改訂が行われた国内計画等に基づいた資金使途例等の拡充

検討課題②：ヒアリング・発行事例等に基づいた資金使途例の拡充

検討課題③：グリーンプロジェクトに寄与する事業の考え方

検討課題④：国際的なガイダンス等との関係性の整理

検討課題⑤：各大分類に係る法令・計画・制度・基準等に関する考え方の整理

検討課題⑥：研究開発の対象や考え方

検討課題⑦：資源循環に関する小分類の更なる整理

検討課題⑧：ネガティブな環境効果の更なる整理・充実化

優先課題として
検討・整理を実施

※優先課題は優先度及び想定される検討作業量も踏まえて選定

※記載順は必ずしも優先順位を示すものではなく、また、今年度優先課題としない課題についても継続的に動向調査等は実施

主な検討課題と論点

検討課題①【優先課題（案）】 新規策定又は改訂が行われた国内計画等に基づいた資金使途例等の拡充

検討方針（案）

- 昨年度の改訂以後に新規策定又は改訂が行われた国内計画等を踏まえて、現行のグリーンリストにおいて記載のないキーワードについて、追記・修正を検討してはどうか。

主な論点

- 昨年度の改訂以後に新規策定又は改訂が行われた国内計画等として以下が挙げられる。これらを主な調査対象として、追記・修正を検討してはどうか。

主な調査対象候補

- GX2040ビジョン（令和7年2月18日）
 - 地球温暖化対策計画（令和7年2月18日）
 - 政府実行計画（令和7年2月18日）
 - 温室効果ガス排出削減等指針（令和7年4月16日公布・適用）
 - 温室効果ガス排出削減等指針 ファクトリスト（令和6年3月公表）
 - LD-tech認証制度（令和6年3月公表）
 - 再資源化事業等の高度化に係る認定制度（令和7年11月施行）
- その他に今年度において考慮すべき国内計画等はあるか。また、どのような基準で選定すべきか。

検討課題②【優先課題（案）】

ヒアリング・発行事例等に基づいた資金使途例の拡充

検討方針（案）

- ・ ヒアリング、発行事例の調査、意見募集等を行い、資金需要を踏まえた資金使途例の拡充を行ってはどうか。
- ・ グリーンリストを使用する上での実態把握及び課題の調査・整理を行い、今後の活用方針を検討してはどうか。

主な論点

- ・ 重点的にヒアリング・発行事例等の調査が必要な環境分野や資金調達主体はあるか。特に重点的にヒアリングをすべき金融機関や事業会社のセクターはあるか。
- ・ 中長期的には、技術の進展や国内外の状況を踏まえてグリーンリストから資金使途例の削除を検討することが必要ではないか。また、その際は時間軸の検討も必要ではないか。
- ・ グリーンリストを使用する上での実態及び課題の把握が必要ではないか。

昨年度ヒアリングにおける主なご意見

- ・ 適応分野は今後需要が増えてくるのではないか。
- ・ グリーン・ソーシャルいずれにも分類されうる場合のようにいろいろな切り口が想定される場合、どのように整理し、インパクト指標を整理すべきか。
- ・ 生物多様性分野においては、プロジェクトが小規模であり、インパクトの定量化が難しい。

検討課題③【優先課題（案）】 グリーンプロジェクトに寄与する事業の考え方の整理

検討方針（案）

- ICMAのグリーンボンド原則において「グリーンプロジェクトに寄与する事業」の記載が追加されたことを踏まえ、グリーンリストにおける対応を検討してはどうか。
- ICMAの公表した関連資料も参考としつつ、どのような検討が取組の後押しとして考えられるか。

主な論点

- グリーンプロジェクトに寄与する事業について、ICMAのQ A集、チェックリスト、グリーンボンド原則の分類部分の改訂で示されている考え方が参考になるか。その他に参考になる考え方としてどのようなものが考えられるか。また、ガイドライン・グリーンリストへの反映方法としてどのような方法が考えられるか。
- GEPガイダンスや関連資料を参考にした上で、考慮すべき論点はどのようなものがあり、どのように整理を行うか。

昨年度の議論の例：

- GEPの対象事業の範囲をどのように考えるか。GEPはgreen project value chainのnecessary partであるとされているが、“necessary”をどのように解釈すべきか。
- GEPの環境改善効果の算定方法をどのように考えるか。最終用途への寄与度をどこまで、どのように計算すべきか。ダブルカウティングの防止をどのように考えるか。
- グリーンプロジェクトに寄与する事業以外の複数の用途を持つGEP製品や製造設備の場合、事業の適格性についてどのように考えるべきか。参考になる考え方としてどのようなものがあるか。

検討課題④ 【優先課題（案）】 国際的なガイダンス等との整合

検討方針（案）

- ICMAのグリーンボンド原則の改訂、IFCのサーキュラーエコノミーファイナンスガイドラインなど、国際的なガイダンス等のレビューを行い、グリーンリストとの整合性や相違点を整理してはどうか。

主な論点

- 以下の他に調査対象とすべき国際的なガイダンス等はあるか。また、どのような基準で調査対象を選定すべきか。（例：ICMAが策定している文書か等）
- 調査対象となった文書について、当該文書の中で紹介されている概念等をグリーンリストの小分類で拾えているかを議論するのはどうか。

主な調査対象候補

- ICMA「Sustainable Bonds for Nature: A Practitioner's Guide」
 - ICMA グリーンボンド原則の改訂（グリーンプロジェクトに寄与する事業の記載の追加）
 - IFC「Harmonized Circular Economy Finance Guidelines」
 - LMAによるグリーンローン原則の分類改訂（エコツーリズムの追加）
 - CBI「Climate Bonds Resilience Taxonomy」
-
- 国際的なガイダンス等のレビューを行うにあたり、どのような観点に注目して整合性や相違点を確認すべきか。（例：対象とする資金使途、指標、海外と日本におけるグリーン性の考え方の違い、等）

検討課題⑤

各大分類に関する法令・計画・制度・基準等の整理

検討方針（案）

- 大分類に関連する施策の進捗状況を関係部局等確認し、参考情報を収集するにあたって連携するのはどうか。

検討に係る論点

- どの分類の参考情報があると、案件の組成に役立つか。

昨年度の議論と対応の方向性

- 第4回のWGまでに3つの小分類を対象に、参考となる法令等（法律、政令・省令、告示、通達、戦略、計画、方針、指針、ガイドライン、手引き等）を調査し、整理。
- 分類ごとに関係する法令等の量の違い、グリーンリストの役割・位置付けなどから網羅的に整理することの難しさ、定期的な管理・更新の必要性等が指摘され、グリーンリストとは別に大分類ごとに参照しうる情報サイト（関係府省のHP等）など、案件の組成をする際の参照先をまとめていくこととなった。

検討課題⑥

研究開発の対象や考え方

検討方針（案）

- 国際的な大きな動向を確認し、新たな考え方等があればその内容を踏まえた対応を検討してはどうか。

主な論点

- 技術の成熟度やその開発の進捗状況を踏まえた研究開発の対象範囲やグリーン性についての考え方を整理する上で参考になる国内外のガイダンス等はあるか。

検討課題⑦

資源循環に関する小分類の更なる整理

検討方針（案）

- IFC「Harmonized Circular Economy Finance Guidelines」との整合確認・検討の中で対応可能な事項があれば対応してはどうか。

主な論点

- これまでの議論・対応で一定の整理がなされたと考えているが、さらに見直すべき事項はあるか。
- さらなる整理・追加を行うべき資金使途例はあるか。

検討課題⑧

ネガティブな環境効果の更なる整理・充実化

検討方針（案）

- ・ 発行事例やヒアリングを通じ、具体的な追記の検討をしていく中でネガティブな環境効果に関する記載の更なる整理・充実化を検討してはどうか。

主な論点

- ・ ネガティブな環境効果の記載の整理・充実化が重点的に求められる資金使途はあるか。
- ・ 整理・充実化の方針としてどのような方向性が考えられるか（ネガティブな環境効果の記載例の追加、優先的に考慮すべきネガティブな環境効果の明記、等）
- ・ 発行事例調査やヒアリング調査で特に実態把握が必要な事項はあるか。

今年度の改訂スケジュール

今年度の改訂スケジュール（案）

- 昨年度に引き続き、計3回WGを開催する想定。また、WG間において企業・自治体へのヒアリングや意見募集を実施することを想定。

＜改訂スケジュール（案）＞

開催時期	実施項目	実施概要
2025年9月	意見募集	グリーンリストに関する意見募集（call for inputs）を実施（9月2日～10月15日）
本日 2025年10月	第7回WG	今年度改訂にむけた検討の方向性について
⋮	WG間の検討①	- 事務局にて文献情報の収集・整理、改訂方針の検討を実施 - ヒアリング調査（金融機関、事業会社等へのヒアリング）
2025年 12月頃	第8回WG	グリーンリストの改訂方針（案）について
⋮	WG間の検討②	事務局にて追加情報の収集・整理、グリーンリスト改訂（案）の検討を実施
2026年 2月頃	第9回WG	グリーンリストの改訂（案）について
2026年 3月頃	親検討会への報告	グリーンファイナンスに関する検討会への報告

ご議論いただきたい事項

ご議論いただきたい事項

1. 今年度以降の検討課題の優先課題案と方針について

- P6に記載の「主な検討課題と優先課題案」に関して、優先課題について御意見はないか。
- P8~P15に記載の各検討課題への検討方針（案）について見直すべき事項はあるか。

2. 改訂にあたり考慮すべき国内外の動向について

- 本資料又は参考資料3に記載の国際原則・国内計画等以外に、グリーンリスト改訂に向けて考慮すべき動向はあるか。
- ヒアリングや発行事例でどのような情報を収集・分析するとよいか。

3. 今年度の改訂スケジュール（案）について

- 今年度の改訂スケジュール、改訂に向けたWGにおける検討等の進め方について御意見はないか。